

聖餐を理解する：包括的なガイド

聖餐式の起源、慣習、そして深い意味を探る

議題

このプレゼンテーションでは、以下の主要なトピックについてご説明します。

- 聖餐の定義
- 過越祭：物語の筋と意義
- イエスの最後の晩餐：物語とその意味
- 過越祭と聖餐式の関係
- 神殿での生贄に関する簡単な考察

解説：この議題は、旧約聖書の儀式が新約聖書の慣習をどのように指し示し、またどのように成就されているかを段階的に示し、理解を深めていくことを目的としています。

導入

詩篇 105:3-4 新改訳聖書

「聖なる御名を誇りとせよ。主を求める者の心は喜びに満ちよ。主とその力とを求めよ。絶えず主の御顔を求めよ。」

「絶えず」という点に重点を置く：信者として、神を求める私たちの歩みは洗礼で終わるものではありません。この聖句は、一度きりの出来事ではなく、生涯にわたって神の臨在と力を求める旅を奨励しています。

聖餐式とは何ですか？

聖餐式（主の晩餐、パンを裂く儀式、愛餐、聖体拝領とも呼ばれる）は、イエスの犠牲を記念するキリスト教の神聖な儀式です。この儀式では、パン（イエスの体を象徴）とぶどう酒（イエスの血を象徴）が用いられます。聖書では夕食または夕べの食事とされていますが、毎日、あるいは夕方のみに行うべき儀式として定められているわけではありません。初期キリスト教の伝統では、これらの食事は交わりと記念のために用いられていました。

解説：「夕食」という言葉は夕食を指しますが、パンを裂くのは夕食時だけ、あるいは毎日という厳格な規則ではありません。初期のキリスト教徒は、特に夕方に頻繁に集まることで模範を示しました（ヘブライ人への手紙 10 章 25 節参照）。これは、私たちも交わりや霊的な励ましのために見習うべき習慣です。

主要用語とギリシャ語の語源

学期	ギリシャ語	定義／意味	参考文献
パンを分け合う	κλάσις (クラシス) / ἄρτος (アルトス)	破壊：破壊。アルトス：小麦粉に水を混ぜて焼いた食品。一般的な食品としても、神聖な目的にも用いられる。	使徒行伝 2:42、2:46、20:7、ルカによる福音書 22:19
主の晩餐	κυριακός (クリアコス) / δείπνον (デイプノン)	クリアコス：主のもの。デイプノン：正式な夕食、通常は夜に行われ、王国における救済を象徴する。	コリントの信徒への手紙一 11:20、11:23-25、マタイによる福音書 26:26-28、マルコによる福音書 14:22-24、ルカによる福音書 22:19-20
ラブ・フィースト	ἀγάπη (アガペ) / συνευωχέω (スネオチエオ)	Agapē：兄弟愛、慈悲； Suneuōcheō：共に惜しみなく宴を開く。	ユダ 1:12、ペテロ第二 2:13

学期	ギリシャ語	定義／意味	参考文献
聖餐式	κοινωνία (koinōnia)	親睦、緊密な関係、共同参加、そして親密なコミュニティ。	コリント人への手紙第一 10:16-17、使徒言行録 2:42

過越祭と聖餐式

過越祭（ペサハ）前：清めの必要性

この章では、旧約聖書の過越祭の準備、特にパン種（罪を象徴するもの）の除去と、新約聖書の最後の晩餐に先立つ霊的な清めとの間に類似点を見出す。

- 旧約聖書（ニサン 13 日以前）：パン種除去（出エジプト記 12:15,19、申命記 16:4）。パン種は悪意、邪悪、偽りの教え、偽善を象徴する（マタイによる福音書 16:6,12、ルカによる福音書 12:1、コリントの信徒への手紙一 5:6-13）。
 - 解説：ニサン月はユダヤ暦の始まりを告げる月です。パン種が生地浸透するように、罪も広がっていきます。コリントの信徒への手紙一 5 章にあるパウロのリストは、まさに警鐘です。イエスは、清めは御言葉と御自身にとどまることによってもたらされることを強調しており、これは過越祭と最後の晩餐の儀式的根底にあるものです。
- 新約聖書（最後の晩餐の前）：イエスは弟子たちの足を洗う（ヨハネ 13:1-20、特に 13:10）。また、イエスのご自身の裏切りを予告する（マタイ 26:21-25、マルコ 14:18-21、ルカ 22:21-23、ヨハネ 13:21-30）。霊的な清さは、御言葉とキリストにとどまることを通して強調される（ヨハネ 15:1-10）。
- 書簡解説：コリント人への手紙第一 5:6-13 - あなたがたの自慢は良くありません。わずかなパン種が生地全体を膨らませることを知らないのですか。古いパン種を取り除き、あなたがたが新しい生地となるようにしなさい。あなたがたは実際にはパン種なしなのです。私たちの過越の小羊であるキリストも犠牲にされました。ですから、古いパン種、悪意と邪悪のパン種ではなく、誠実と真実のパン種なしのパンで祭りを祝いましょう。私が手紙であなたがたに、淫らな人々と交わらないようにと書きましたが、それはこの世の淫らな人々、貪欲な人々、詐欺師、偶像礼拝者と交わるという意味ではありません。もしそうなら、あなたがたはこの世を去らなければならないでしょう。しかし実際には、私はあなた方に、いわゆる兄弟であっても、淫らな者、貪欲な者、偶像崇拜者、口汚い者、常習的な酔っぱらい、詐欺師などとは交わってはなら

ないと書きました。そのような人とは食事さえも共にしてはならないのです。私が部外者を裁くのは、何の務めでしょうか。あなた方は教会の中にいる者を裁かないのですか。しかし、外にいる者は神が裁かれるのです。あなた方の中から、そのような悪人を追い出さない。

福音書におけるパン種（酵母）の象徴性

パン種は、偽りの教えや偽善の比喻として用いられる。

- 偽教師 (Ψευδοδιδάσκαλος -pseudodidaskalos)：キリストに由来しない教えを説く教師（ガラテヤ 5:6-11）。
 - 解説：パウロはイエスの警告を改めて強調している。すなわち、神の権威ではなく人間の権威を用いて人を説得しようとする者には注意すべきだという警告である。
- 偽善者 (Υποκριτής -hypokritēs)：役者または偽善者、神の命令よりも人間の伝統を支持する人（マタイ 15:1-9）。
 - 解説：ファリサイ派の人々は、人間が作った教えを優先したとして非難されている。これは「パン種」の典型的な例である。
- 定義（メリアム・ウェブスター辞典）：パン種とは、酵母のように生地を膨らませる発酵剤のことです。「膨らませる」（誇りを表す）というギリシャ語は、パン種の働きを反映しています。

事例研究：マタイによる福音書 13 章 33 節 — 肯定的なパン種か、否定的なパン種か？

マタイによる福音書 13 章 33 節（「天の御国はパン種のようなものだ…」）は、教父たちによって肯定的にも否定的にも解釈されてきました。しかし、パウロは一貫してパン種を腐敗の象徴として用いています（例：ガラテヤ人への手紙 5 章 9 節、コリント人への手紙第一 5 章 6 節）。真の信仰は、キリスト、使徒、預言者という土台の上に築かれるのです（エフェソ人への手紙 2 章 19-22 節、コリント人への手紙第一 3 章 9-11 節、マタイによる福音書 7 章 24-27 節、ペトロの手紙第一 2 章 5-8 節）。

通訳者	解釈概要
オリゲン	パン種はキリストの教えの普及を意味する
アウグスティヌス	神の愛として教会に広がる酵母
ジョン・マッカーサー	パン種は悪である — 教会に隠された偽りの教え

通訳者	解釈概要
使徒パウロ	「少量の酵母が生地全体を膨らませる」(常に否定的な意味合い)

解説：初期教会の多くの注釈者はパン種を肯定的に解釈したが、パウロの警告はそれを腐敗の象徴として捉えるよう私たちを導く。私たちの信仰は、後世の解釈や伝統ではなく、キリストと使徒たちの教えに基づかなければならない。

コリント人への手紙第一 5章のパン種：取り除くべき罪

パウロはパン種を、信仰共同体から取り除かなければならない墮落した罪の比喩として用いている。

罪の種類	ギリシャ語の用語	意味	参考文献
性的に不道德	πόρνος (ポルノ)	姦淫者、男性売春婦	コリント人への手紙第一 6:15-20
貪欲な	πλεονέκτης (pleonektēs)	もっと欲しい、特に他人の持ち物が欲しい	ルカによる福音書 12:15
偶像崇拜者	εἰδωλολάτρης (エイドーラトレス)	偽りの神々を崇拝する者	コリント人への手紙第一 10:12-22、コロサイ人への手紙 3:5
罵倒者	λοιδόρος (loidoros)	言葉による虐待者	ヤコブ 3:10、詩篇 101:5-7
酔っぱらい	μέθυσος (methusos)	常習的に酩酊している	コロサイ人への手紙 3:5
詐欺師	ἄρπαξ (harpax)	恐喝者、強盗	ルカによる福音書 19:8-9

解説：これらの罪は深刻です。パウロは、教会からこれらの罪を取り除くよう命じています。現代の偶像崇拜には、神よりも趣味や人を優先することが含まれます。中傷者や詐欺師は、今日のメディアや政治に蔓延しています。世の中と関わりを持つことは大切ですが、その価値観を真似てはいけません (コリント人への手紙第一 5章)。

発酵させたものと発酵させていないものの良い個人的成果の例にはどのようなものがありますか？

長期間にわたる忠実さの例として、サウル（パン種入り：傲慢な結末）とダビデ（パン種なし：悔い改めた心）を比較します。解説：両者とも聖霊を受け、謙遜な状態で始めました。サウルは傲慢になり、不従順になりましたが、ダビデはすぐに悔い改めました。ダビデ、すなわち「神の心にかなう人」を目指しましょう。伝道の書 7 章 8 節は、サウルのせっかちで傲慢な罪（許可されていないいけにえ）について述べています。

カテゴリ	サウル	デビッド	類似の前例
最初の呼び出し	神に選ばれ、サムエルによって油注がれた（サムエル記上 10:1,10,5-13）。	サムエルによって油注がれた（サムエル記上 16:13、サムエル記下 23:1-2）。	どちらも最初から神に選ばれ、聖霊に満たされていた。
初期の忠誠心	最初は神に従った（サムエル記上 11:6-7）。	ゴリアテに対して神を信頼した（サムエル記上 17:45-47）。	どちらも神の導きに頼ることから始まった。
重大な違反	<ol style="list-style-type: none"> 許可されていない犠牲（サムエル記上 13:8-14）。 アマレク人の戦争における不従順と貪欲（サムエル上 15:1-23）。 祭司の殺害（サムエル記上 22:6-19）。 死霊術（サムエル記上 28:7-20）。 	<ol style="list-style-type: none"> バテシバとの姦通（サムエル記下 11:2-5）。 ウリヤの殺害（サムエル記下 11:14-17） 傲慢さから生じた人口調査（サムエル記下 24:1-10）。 一夫多妻制（サムエル記下 3:2-5）。 	両者とも指導者として、神の律法に重大な違反を犯した。
罪の本質	不服従、貪欲、嫉妬に駆られた殺人、禁じられた行為。	欲望、殺人、傲慢。個人的な道徳的欠陥。	両者とも、神の直接的な命令または道徳規範に違反した。

カテゴリ	サウル	デビッド	類似の前例
罪への応答	罪を否定したり正当化したりして、悔い改めない（例：サムエル記上 15:20-21）。	告白し、悔い改めた（例：サムエル記下 12 章 13 節、詩篇 51 篇）。	両者とも神との対決に直面した（サムエルとナタン）。
神との交信	神の恵みを失った（サムエル記上 15:11）。預言者やウリムを通して答えが得られなかった（サムエル記上 28:6）。	預言者（例えば、ナタン、ガド）や祈りを通して神へのアクセスを維持した。	二人とも最初は神の啓示を受けたが、結果は異なった。
結果	王として拒否され（サムエル記上 15:23）、裁きを受けて死亡した（サムエル記上 31）。	許されたが罰せられた（例：子供の死、サムエル記下 12 章 14 節）。王朝は存続した。	二人はそれぞれの罪のために神の罰を受けた。
関係の結果	永久に断ち切られ、魔術に走った（サムエル記上 28）。	悔い改めによって回復した者。「神の心にかなう人」（使徒行伝 13:22）。	両者とも罪によって試練を受けたが、信仰／悔い改めが運命を決定づけた。

引用:

- 伝道の書 7:8 ESV : 「物事の終わりは始まりに勝る。忍耐強い人は、高慢な人に勝る。」
- 「大切なのは、始まり方ではなく、終わり方だ。」（ジョージ・W・トゥルーエット、バプテスト派牧師、1926 年）
- 「始まり方が重要ではなく、終わり方が重要なのだ。」（パット・ライリー、バスケットボールコーチ、2001 年）

サウル（パン種入り：傲慢な結末）とダビデ（パン種なし：悔い改めた心）を、時を経ても変わらぬ忠誠心の例として比較する。

解説：サウルとダビデは共に聖霊を受け、謙遜な心で旅を始めました。しかし、サウルの物語は次第に傲慢さと不従順さを増していくのに対し、ダビデはすぐに自分の過ちを認め、悔い改めました。教

訓：神の心にかなう人、ダビデを見習うよう努めましょう。

発酵させたパンと発酵させていないパン

発酵させたものは、傲慢さで「うぬぼれる」こと（φυσιώω - phusioo：膨らませる、傲慢にする）を表しています。詩句は謙遜さを強調しています。

- コリント人への手紙第一 4:6 (NASB): 「あなたがたのうちだれも高慢にならないように…」
- (比較のために、NASB、LSV、NIV の全文を原文で掲載しています。)
- 種なしパンは、平たくて質素なパン（マツツァ）です。
 - 解説：酵母の働きによってパンが膨らむのは、傲慢さの象徴である。ギリシャ語の「膨らませる」は両方を表しているが、これは偶然だろうか？ 逐語訳聖書では「膨らんだ」が強調されている。

過越祭の前後（準備）

過越祭の準備状況と最後の晩餐の出来事を比較した、統合された年表。

- 過越祭（ニサン 13-14 日）：パン種が完全に除去され、子羊が屠られ、戸口の柱に血が塗られる（出エジプト記 12:6-11,22、民数記 9:12）。準備：真理を帯びる（エフェソの信徒への手紙 6:12-15、ルカによる福音書 12:35-37、ペトロの手紙一 1:13）。血を振りかける：心を清める（ヘブライ人への手紙 10:22、ペトロの手紙一 1:2、ヨハネの黙示録 3:20）。
- 最後の晩餐の出来事：足を洗うこと、裏切りの予言、準備についての説教（ヨハネ 13-17）。主な教え：彼は道である、聖霊の約束、彼にとどまること（命令に従う）、互いに愛し合うこと、世はあなた方を迫害するだろう。賛美歌を歌い、祈った。解説：逐語訳標準訳では、準備を表すのに「腰に帯を締める」という表現が使われている。ペテロ：心の腰に帯を締めなさい。慎み深く、正直であれ。使徒たち：血で染まった心は戸口のようなものである。心＝戸口、私たち＝家（マタイ 12:43-45）。悔い改める準備をし、悪に再び占領されないように聖霊を受け入れること。裏切り／否認の予言、別れの説教（慰め、父への道、とどまること、愛、憎しみ、悲しみから喜びへ、勝利）。ハレル詩篇（113-118）を歌った。イエスの祈り：栄光、保護、聖化、一致。
- 書簡解説：コリント人への手紙第一 10:16-18 - 私たちが祝福する祝福の杯は、キリストの血にあずかることではないでしょうか。私たちが裂くパンは、キリストの体にあずかることではないでしょうか。パンは一つですから、私たちも大勢いても一つの体です。なぜなら、私たちは

皆、一つのパンにあずかっているからです。イスラエルの民を見てください。いけにえを食べる者は、祭壇にあずかる者ではないでしょうか。

過越祭（審判）

- 過越の裁き：滅ぼす者は長子を打つが、血の印のある家は通り過ぎる（出エジプト記 12:12-14,23）。
- 新約聖書：聖餐における自己吟味（1 コリント 11:25-34）、十字架としての蛇（ヨハネ 3:14、民数記 21:5-9、1 ペテロ 2:23-24）。肉を食べ血を飲むことによる永遠の命（ヨハネ 6:51-56、マタイ 26:26-28）。和解（ローマ 5:8-11）。アクセス（ヘブライ 10:19-20、ヨハネ 14:6）。十字架上の出来事：ヒソップの上の酸っぱいぶどう酒、骨折なし（ヨハネ 19:28-37）。解説：血がなければ裁きは下る。滅ぼす者は通り過ぎる。世の裁きを避けるために自分自身を裁く。訓練とは主によって裁かれることである。蛇の噛み傷 = 悪魔/罪。悔い改め、霊的な癒しのためにキリストを思い出す。ヨハネ 6: 永遠の命のために肉/血を食べ、とどまる。マタイ 26 章：罪の赦しのための血。ローマ 5:8-11 キリストの血による神との和解。ヘブライ 10:19-20 神への道。死：ヒソップ、折れていない骨が過越祭を成就する。体から出る水は出エジプト記 17 章の岩（岩としてのイエス）と並行する。裏切り/逮捕、裁判（アンナス/カイアファ、ピラト/ヘロデ）、十字架への旅、磔刑、出来事（渇き、酸っぱいぶどう酒、「終わった」、暗闇、地震、百人隊長の賛美、幕の裂け目、足の骨折なし、脇腹の刺し傷 — 血/水）、埋葬。イエスは牢獄の霊に説教する（ペテロ第一 3:18-20）。
- 書簡解説：コリント人への手紙第一 11:25-34 - 同様に、夕食後、イエスは杯を取り、「この杯はわたしの血による新しい契約です。飲むたびに、わたしを記念してこれを行いなさい」と言われました。あなたがたは、このパンを食べ、この杯を飲むたびに、主が来られるまで、主の死を告げ知らせるのです。ですから、ふさわしくない仕方です。主のパンを食べ、主の杯を飲む者は、主の体と血に対して罪を犯すこととなります。しかし、人は自分自身を吟味し、そうしてパンを食べ、杯を飲むべきです。もし、食べたり飲んだりする者が、主の体を正しく認識しないなら、自分自身に裁きを招いているのです。このため、あなたがたの中には弱っている者や病気の者が多く、眠っている者も少なくありません。しかし、もし私たちが自分自身を正しく判断するなら、裁かれることはないでしょう。しかし、私たちが裁かれるのは、世と共に裁かれないよう、主によって懲らしめられているからです。ですから、兄弟姉妹の皆さん、食事のために集まる時は、互いに待ち合いなさい。もし空腹の人がいれば、家で食事をしなさい。そうすれば、皆が集まって裁きを受けることにならないでしょう。残りの事柄については、私が

来た時に指示します。

ローマ人への手紙 5:8-11 - しかし、神は私たちがまだ罪人であった時に、キリストが私たちのために死んでくださったことによって、私たちに対するご自身の愛を示されました。ですから、今やキリストの血によって義とされた私たちは、なおさらキリストによって神の怒りから救われるでしょう。私たちが敵であった時に、御子の死によって神と和解させられたのであれば、和解させられた今、なおさらキリストの命によって救われるでしょう。そればかりか、私たちは今や和解を受けた主イエス・キリストを通して、神を喜び祝うのです。

ヘブライ人への手紙 10:19-20 - ですから、兄弟たちよ、私たちはイエスの血によって、すなわち、イエスが幕、つまりご自身の肉体を通して私たちのために開いてくださった新しい生きた道によって、聖所に入る確信を持っています。

ヨハネによる福音書 14:6 イエスは彼に言われた。「わたしは道であり、真理であり、命である。わたしを通らなければ、だれも父のもとに行くことはできない。」

判決に関して

- イエスは裁き主である（ヨハネによる福音書 5 章 22 節、コリントの信徒への手紙二 5 章 9-10 節）。
- 偽善者になってはならない（マタイによる福音書 7:1-2、ローマ人への手紙 2:1-3、ルカによる福音書 6:37-38）。
- 見下したり、軽蔑したりしてはならない（ローマ人への手紙 14 章、コリント人への第一の手紙 8 章 7-13 節）。
- 識別力を身につけなさい（ヘブライ人への手紙 5:12-14 は実践を通して、箴言 2:6-9 は神から、箴言 3:21-23 は勤勉を通して、テサロニケ人への手紙第一 5:21-22 は吟味を通して、ヨハネの手紙第一 4:1-13、2:3-6、3:23-24 は霊から、コリント人への手紙第一 2:14-15 は精査を通して）。
- 教師に対するより厳しい裁き（ヤコブ 3:1、ルカ 12:42-48）。
- 聖徒は世界／天使を裁く（コリントの信徒への手紙一 6:1-5、マタイによる福音書 19:28、ヨハネの黙示録 20:4）。イエスの教えが基準となる（ヨハネによる福音書 12:47-48）。

－ 解説：識別力が鍵となる（多くの聖句を参照）－ なぜなら聖徒たちはイエスが世界を裁

くのを助けるからである。訓練は今、あるいは洗礼後から始まる。例：モーセは厳しく裁いた（民数記 20 章：モーセは言葉を発する代わりに岩を打った — 罰せられ、約束の地に入ることができなかった）。旧約聖書：約束の地に入った後に裁き人が任命された（例：サムソン）。同様に、私たちは天国に入った後に裁きを行う。

過越祭後（解放）

- 過越祭（ニサン月 15 日～21 日）後：種なしパンの祭りが始まる。初穂の捧げ物（出エジプト記 12:17-20、レビ記 23:10-11、出エジプト記 22:29）。エジプトからの脱出。
- 新約聖書：初穂としての復活（コリント人への手紙第一 15:20-28）、善行のために清められ、罪に対して死に、義のために生きる（テトスへの手紙 2:13-14、ペテロの手紙第一 2:24、ローマ人への手紙 5:18-21）。種なしパン/初穂の期間中の復活：日曜日（安息日の翌日）に復活、出現（マリア、女性、エマオ、エルサレム、トマス、ガリラヤ、500 人以上）、大宣教命令、40 日後の昇天。
 - 解説：キリストは、これらの祭りの期間中に復活された、最初の種なしパン／初穂です。私たちが種なしであるべきです。キリストは、ご自身の民である私たちを、義のために清めてくださいます。
- 書簡解説：コリント人への手紙第一 15:20-28 - しかし、実際には、キリストは死者の中からよみがえられました。眠っている者たちの初穂としてです。死が人によってもたらされたように、死者の復活もまた人によってもたらされたのです。アダムにあってすべての人が死ぬように、キリストにあってすべての人が生かされるのです。しかし、それぞれに順序があります。まずキリストが初穂としてよみがえり、次にキリストの再臨の時にキリストに属する者たちがよみがえり、それから終わりが来ます。キリストは、すべての支配とすべての権威と力を廃止し、王国を私たちの神であり父である方に渡されます。キリストは、すべての敵をその足の下に置くまで支配しなければなりません。最後に廃止される敵は死です。なぜなら、キリストはすべてのものをキリストの足の下に服従させたからです。しかし、「すべてのものが服従させられた」と言うとき、すべてのものをキリストに服従させた父なる神は含まれていないことは明らかです。万物が神に従うとき、御子自身もまた、万物を御子に従わせた方に従われるであろう。それは、神がすべてにおいてすべてとなるためである。

最後の晩餐／新約聖				
ステージ	過越祭 (旧約聖書)	書の出来事	神殿の供物	参考文献一覧
浄化する	ニサン 13 日以 前：パン種を取り 除く (出エジプト 記 12:15,19、申命 記 16:4)	最後の晩餐の前：足 を洗う (ヨハネ 13:1-20、15:1-10)； 裏切りを予言する (マタイ 26:21-25；マ ルコ 14:18-21；ルカ 22:21-23；ヨハネ 13:21-30)	洗面器での沐浴 (出エジプト記 30:18-21)	マタイによる福音 書 16:6,12；ルカ による福音書 12:1；コリントの 信徒への手紙一 5； マタイによる福音 書 12:43-45
準備万端	ニサン 14 日：子 羊を屠って食べ、 戸口の柱に血を塗 る (出エジプト記 12:6-11、12:22、 民数記 9:12)	最後の晩餐の際：聖 餐式が制定される (マタイ 26:26-29、ヨ ハネ 6:53-58)。イエ スの説教：道である こと、愛、従順を教 え、聖霊を約束し、迫 害を警告し、歌い、祈 る (ヨハネ 13-17、マ ルコ 14:26)。	動物の供え物 (レ ビ記 1 章 3-4 節)	ルカによる福音書 12:35-37 LSV；ペ トロの手紙一 1:13 LSV；エフェ ソの信徒への手紙 6:12-15；ヘブライ 人への手紙 10:22、 11:28；ペトロの手 紙一 1:2；ヨハネ の黙示録 3:20

最後の晩餐／新約聖				
ステージ	過越祭（旧約聖書）	書の出来事	神殿の供物	参考文献一覧
判定	ニサン 14-15 日： 破壊者は長子を襲 うが、「選ばれた 者」は通り過ぎる (出エジプト記 12:12-14、23)	イエスの死：裏切り、 磔刑（ヨハネによる 福音書 18-19 章）	動物の屠殺（レビ 記 1:5,11）、血の 採取／塗布（レビ 記 1:5,4:7）	コリントの信徒へ の手紙一 11:25-34、ヨハネ による福音書 3:14、ペトロの手 紙一 2:24、コリ ントの信徒への手 紙一 10:9、民数 記 21:5-9、ヨハネ による福音書 6:51-56、マタイ による福音書 26:26-28、コリン トの信徒への手紙 一 10:16-18、ロ ーマの信徒への手 紙 5:8-11
ベール／ア クセス	幕屋の幕（ベー ル）は、聖所と至 聖所を隔てている (出エジプト記 26:31-37、レビ記 16:2-15)。	十字架刑で引き裂か れた（マタイ 27:51）。 幕、すなわち彼の体 を通して、新しい生 きた道が開かれた (ヘブライ 10:19-20)。 わたしは道である (ヨハネ 14:6)。	大祭司は年に一 度、血を持って幕 の後ろに入る（レ ビ記 16 章）	ヘブライ人への手 紙 10:19-22、コ リント人への第二 の手紙 3:12-18、 ヨハネによる福音 書 14:6

最後の晩餐／新約聖				
ステージ	過越祭 (旧約聖書)	書の出来事	神殿の供物	参考文献一覧
救出	ニサン 15 日～21 日：出エジプト開始、初穂祭、種なしパンの祭り (出エジプト記 12:15-20、レビ記 23:6-8)	イエスの復活：復活、出現、集会、大宣教命令、昇天 (マタイ 28 章、ヨハネ 20-21 章、ルカ 24 章、使徒 1 章)	動物を焼く／調理する／食べる (レビ記 1 章 6-9 節)	コリント人への手紙第一 15:20-28、テトスへの手紙 2:13-14、ペトロの手紙一 2:24、ローマ人への手紙 5:18-21

旧約聖書の供え物

厳選された供え物とその共同体的な側面について簡単に見てみましょう。解説：あなたがたはキリストの肉と血を持つ神殿 (1 コリント 3:16、2 コリント 6:16) であり、祭司／供え物を行う者 (1 ペテロ 2:5,9、黙示録 1:6、ローマ 12:1) であるため (ヘブライ 10:19-20)、供え物を再現することができます。義務ではありません。命令ではありません。まず和解／清めをしてください (マタイ 5:23-24、1 コリント 11:31-32)。今は移動式の神殿ですが、古代の人々は遠くまで旅をしました。詩篇 27 篇：ダビデは近くのを神殿を切望し、新しい契約の体として神殿が与えられました。もっともらしい例：使徒 20:7-11 (パウロはパンを 2 回裂く — 夕食、そして奇跡の後、おそらく感謝)。

提供タイプ	聖書箇所	関係する要素	目的	共同体的な側面
燔祭 (オラー)	レビ記 1:3-9	動物 (雄牛、羊、山羊、鳥)	贖罪、神への献身	供え物を捧げる者が供え物を捧げ、祭司がそれを燃やす。供え物を捧げる者はそれを食べてはならない。
穀物供養 (ミンハー)	レビ記 2:1-10	穀物、小麦粉、焼きパン、油、塩	感謝祭、信仰	供え物をする者が持ち寄り、祭司たちがそれを食べる

提供タイプ	聖書箇所	関係する要素	目的	共同体的な側面
平和の捧げ物 (シエラミム)	レビ記 3:1-3; 7:11-15	動物性、無発酵パン／発酵パン	親睦、感謝、誓いの成就	供物者、家族、司祭が食事をする
罪の供え物 (チャタット)	レビ記 4:27-31; 6:25-30	動物 (ヤギ、子羊、雄牛)	意図せず犯した罪の償い	供え物が捧げられ、祭司たちが食べる (焼かれていない場合)。
罪の供え物 (アシャム)	レビ記 5:14-16; 7:1-7	動物 (雄羊)、賠償金	特定の罪に対する償い	供え物をする者が持ってきて、祭司たちが食べる
供えのパン (臨在のパン)	レビ記 24:5-9	パン 12 個	神への絶え間ない捧げ物	司祭は毎週食事を

旧約聖書におけるその他の人間関係

旧約聖書の出来事と聖餐 (聖体拝領) との関連性。

解説: イエスはメルキゼデク (パンとぶどう酒を持つ祭司王) に似ている。マナ: 天からのパン / 言葉 — 毎日食べる。岩から出る水: 聖霊 / 生ける水 — 出エジプト記に一度登場するが、頻繁な聖餐式と類似している。

旧約聖書の参照	説明	聖体拝領とのつながり	関連する聖句
メルキゼデクの捧げ物	メルキゼデクはパンとワインを差し出す…	パンとワインは聖餐の要素を予示するものである。	創世記 14 章 18-20 節、ヘブライ人への手紙 7 章 1-17 節など。
過越祭	イスラエル人は子羊を犠牲に捧げる…	過越祭の聖餐式; 子羊としてのイエス…	出エジプト記 12 章 1-28 節、マタイによる福音書 26 章 17-19 節など。

旧約聖書の参照	説明	聖体拝領とのつながり	関連する聖句
荒野のマナ	神はマナを与えてくださる…	マナは天からの真のパンを予兆する…	出エジプト記 16:4-35。ヨハネ 6:31-35。等
岩から湧き出る水	岩から湧き出る水…	水は、霊的な飲み物としての聖餐のワインを予兆するものである。	出エジプト記 17:1-7; コリント第一 10:1-4; 等
ショーブレッド	幕屋の中の 12 個のパン…	供えのパンは、聖餐における神の臨在を予示するものである。	出エジプト記 25:30、マタイによる福音書 12:1-4 など。
ブドウの木とワイン	ブドウの木としてのイスラエル…	ワインはキリストの血、イエスは真のぶどうの木…	詩篇 80:8-19、ヨハネによる福音書 15:1-5 など。
契約の血	モーセは血を振りかける…	聖餐のワインは、新しい契約の血である…	出エジプト記 24:6-8、マタイによる福音書 26:28 など。
幕屋の垂れ幕／カーテン	幕屋の幕（ベール）は聖所と至聖所を隔てており、大祭司だけが年に一度、血を持って入ることができた。	十字架刑において幕が引き裂かれ（マタイ 27:51）、キリストの体（パン）と血（杯）を通して、神の臨在に大胆に近づくための新しい生きた道が開かれる。	出エジプト記 26:31-37、レビ記 16:2-15、マタイによる福音書 27:51、ヘブライ人への手紙 10:19-20、コリント人への第二の手紙 3:12-18

祭りのタイムライン

出来事とユダヤ教の祭典を網羅した詳細な年表。解説：参考資料として。

日付	イベント	フェスティバルの背景	参考文献
2月13日/14日夜 (木曜夜)	最後の晩餐、裏切り、 逮捕	酵母の除去完了。過越祭の 準備。	マタイによる福音書 26:17-56 など
2月14日(金) 昼間	裁判、磔刑、埋葬	過越祭：子羊の屠殺、子羊 としてのイエス	マタイによる福音書 27章 1-60 節など。
2月15日(金曜夜～ 土曜)	墓の中で、安息日の休 息	種なしパンの祭り：1日目	マタイによる福音書 27:62-66 など
2月16日(土曜の 夜)	墓の中で	種なしパンの祭り：2日 目；初穂	ペテロの手紙第一 3:18-20、エフェソの 信徒への手紙 4:8-10
2月16日/17日(日 曜日午前)	復活、空の墓	種なしパンの祭り(3日 目)；初穂祭	マタイによる福音書 28章 1-10 節など。

紀元 230 年頃の聖餐の証拠 (メギドのモザイク画)



現存する最古のキリスト教教会モザイク(紀元230年頃、イスラエル、メギド)には、聖餐式/記念式典のためのテーブルが描かれている。碑文：

- 「神の友であるアケプトウスは、記念として神イエス・キリストに食卓を捧げた。」
- 「ポルフィリオスとも呼ばれる百人隊長であり、我々の兄弟であるガイアノスは、切に望み、このモザイク碑文の制作を依頼した。制作はブルータスが行った。」
- 「プリミラとシリアカとドロテア、そしてクレステのことも忘れないで。」

解説：最古の「教会建築物」。魚のシンボル（初期キリスト教）。百人隊長が建設を依頼し、女性たちが管理した。

最後に

イザヤ書 55:8-9 ESV

わたしの思いはあなたがたの思いとは異なり、わたしの道はあなたがたの道とは異なる、と主は言われる。天が地よりも高いように、わたしの道はあなたがたの道よりも高く、わたしの思いはあなたがたの思いよりも高い。

箴言 3:5-6 ESV

心を尽くして主に信頼し、自分の知恵に頼ってはならない。すべての道で主を認めよ。そうすれば、主はあなたの道をまっすぐにされる。

まとめ

- 過越祭と神殿での犠牲は、主の晩餐、すなわち聖餐式の前兆である。
- 過越祭と神殿での犠牲について理解を深めることで、主の晩餐とその重要性についての理解が深まります。

エピローグ

マタイによる福音書 5:8

「心の清い者は幸いである。彼らは神を見るであろう。」

解説（メモからの話）：洗礼を受けた後、信仰から離れてしまったものの、より深い悔い改めを求めて戻ってきた男性を知っています。祈りが聞き届けられたことに感謝しつつ、祈りや聖書朗読を超えてさらに一歩踏み出すにはどうすればよいかと考えていました。初期のクリスチャンが毎日パンを裂いていたことに触発され、彼は日々の罪を振り返り（マタイ 5:23-24、1 コリント 11:31-32 参照）、悔

い改め、毎晩パンとぶどう酒を摂るようになりました。驚くべきことに、30年以上夢を見ていなかった彼が、懲らしめと導きのメッセージ（詩篇 23 篇：杖）を夢で見るようになったのです。彼は今も熱心に続けています。希望：聴衆がこの関係を体験します。ヤコブ 4:8：神に近づきなさい。そうすれば、神はあなたがたに近づいてくださいます。